



平成17年夏
鳥取県開催
平成17年7月1日(日)～12日(土)
夢舞台・まちなかオデッセイ さがをすよ



いよいよ、「南部町教育委員会丸」処女航海への出航であります。私は、永江が初代の船長（教育長）を務めることになりました。若輩者ではありますが、若さ？を武器に、事務局・小学校・中学校・給食センター・公民館・図書館に配置した総勢約150名のクルーとともに、力を合わせ、心を合わせて、荒波の教育海界）を航行する決意であります。

住民の皆様の願いや想いを羅針盤として、「心豊かで創造的な人間育成」の港、「地域に開かれた特色ある学校づくり」の港へ大きく舵をとりたいと思っています。

本船クルーは、「前へ前へ、ひたすら前へ、信じて前へ、迷わず前へ、ただただ前へ、一歩前へ」の精神を大切にし、住民の皆様と共に考え、共に悩み、共に汗をかきたいと願っております。町の未来を託す子ども達のために、誰もが大切にされる地域社会をつくるために、共に一步前へ！

ご挨拶



教育長
永江多輝夫



庶務担当
田辺千代美



人権・同和教育・社会教育担当
河野 早苗



教育次長
前田 和子



文化・文化財担当
新井 宏則



地域教育担当
杉本由香里



生涯学習担当
宇田川 学



学校教育担当
加藤 晃



庶務・社会教育施設担当
後藤 由美



社会体育・スポーツ担当
益田 良介



社会教育担当
泉 潤哉



社会教育・社会体育担当
大塚 壮

どうぞよろしくお願ひいたします（スタッフ一同）



衣裳も道具も本格的!!

「芝オケ」とは、何ともおもしろい名前ですが、天津の公民館活動ではじまつたもので、芝居+カラオケという意味だそうです。せりふが全てテープから流れてくるので演技に集中でき、おまけに全国に類を見ない芝居ということで、町内外から公演の申し込みがあるそうです。

昭和57年に設立され、今年で24年目。設立時からの歴史、71本にのぼるオリジナル脚本、衣装、公演の様子などが展示やビデオで紹介され、訪れた人は楽しみました。

板祐生館で、4月29日から5月14日まで、「ザ・芝オケ展」が開催されました。



考古学や歴史についての興味を深めようと、県埋蔵文化財センター主催の「子ども考古学教室出前授業」が西伯小学校と会見小学校で行われました。

今、社会科で歴史学習をしている六年生が参加しました。出土した本物の土器や石器に触れたり、クイズをしたりしながら古代の人の生活に思いをめぐらせました。

その後、グループに分かれて、火おこし体験にも挑戦。うまく火をおこせたグループは、歓声をあげて喜んでいました。



「力をあわせて」



「どの十器が一番古いかな」

スポーツコーナー

【西伯野球部編】

毎週水・土・日の午後に六年生一名、五年生七名、四年生九名、三年生二名、計十九名で新宮和幸監督の指導のもと日々練習に励んでいます。

監督が「練習はうそをつきません、努力は必ず報われます。野球だけでなく何事にでも積極的に行動し、目標に向かい選手一丸となってがんばろう!」と曰ごろから言っておられるように「一人はみんなのためにみんなは一人のために」をスローガンに、部員一同個々の技術の向上と勝利を目指して一丸となつてがんばっています。



「さあ、がんばるぞ！」

みんなでスポーツ